

■ 目標設定型の政策検討の考え方（参考資料）

- 既存事業を当てはめていくのではなく、
 (1) 理想とする将来像を描き
 (2) どんな指標が道標（目安）になるかを考え
 (3) その指標を良くするための取組を考えます

その3
 ○結果指標を実現するために必要な取組の方向性と、その方向性に基づく具体的な取組を考えます。

その2
 ○その「めざす姿」が実現できているかどうかを計測する場合の結果指標（アウトカム）を考えます。

その4
 ○その取組の進み具合を測る活動指標を考えます。

活動指標（例）
 ・男女共同参画学習講座の開催回数

基本事業
 ○保育、学校教育、生涯学習における男女共同参画に関する学習機会づくり

○性別にとらわれない人権尊重の意識啓発が必要
 →子どもの時から、大人になっても、継続的に学習する機会をつくる

活動指標（例）
 ・DV経験者数、相談者数

基本事業
 ○あらゆる暴力を許さない意識づくりと、通報やシェルターなど対応のための環境づくり

○性別に関わらず、DVや虐待が起こらない、起こった時に適切に対応することが必要
 →暴力を許さない仕組みや対応する体制をつくる

○男女共同参画のまちづくりが推進されていると思う市民の割合

【男女共同参画】
 性別に関わりなく、すべての人が様々な場で活動・活躍し、自己実現できる社会の実現

活動指標（例）
 ・女性の就業者数、就業率
 ・セクハラ経験者数

基本事業
 ○職場に対して、働き方改革や男女共同参画に関する情報提供、指導、学習機会の提供

○働く場（企業等）で、「働く権利」「男女共同参画」を実現していくことが必要
 →企業や事業所において、学習機会や仕組みをつくる

○ワーク・ライフ・バランスが実現できていると思う市民の割合

その1
 ○対象の施策分野のめざす姿（将来像）を描きます。

活動指標（例）
 ・男女共同参画啓発冊子の配布冊数

基本事業
 ○家庭や地域に対して、働き方改革や男女共同参画に関する情報提供、指導、学習機会の提供

○家庭や地域で、「男女共同参画」を実現していくことが必要
 →家庭や地域において、学習機会や仕組みをつくる

活動指標
 →内部の進行管理のため、どれだけやったか、進んだかを示す指標を設定
 →計画書には記載しない

基本事業（やること）
 →指標を良くするため、施策の方向に基づいて、実際に実行することを検討

施策の方向
 →栗東市の現況をみて、不十分なところを検討（課題）
 →指標を良くするための取組の方向性を検討

参考とするアウトカム指標
 →このうち、代表的なものを基本構想（政策目標）に設定